

<u>CLASSE :</u>	<h1 style="text-align: center;">フランス語で読む語学入門</h1> <h2 style="text-align: center;">～イタリア語編～</h2> <h3 style="text-align: center;">CEM-61/7</h3>
<u>Jour :</u>	土曜日 全3回
<u>Horaires :</u>	13:30-14:20
<u>Niveau :</u>	A1/A2
<u>M./Mme :</u>	M. Takanori SHIMAZAKI
<u>Objectifs :</u>	フランス語で文法を説明した記述を読み中級程度の読解力をや しなう
<u>Descriptif :</u>	<p>フランス語学習者は、日本語、あるいはフランス語で書かれた本によってフランス語学習を進めることになると思います。それはつまりフランス語内部の視点からフランス語を、そして日本語という外部の視点からフランス語を説明する試みです。そこで今回は、フランス語の視点から別の言語を眺めてみるという体験をしてみたいかがでしょうか。</p> <p>イタリア語とフランス語は、インド・ヨーロッパ語の中のイタリック語派という同じグループに分類される、近い言語です。フランス語で書かれたイタリア語の入門書を読むと、その類似点とともに、注意すべき相違点が強調されています。そこには逆にフランス語の特徴が浮き彫りになっているともいえるのです。</p> <p>この3回の授業で、フランス語がどのようにイタリア語を説明しているかを読むことを通してフランス語の特徴を見直し、学習に役立てる機会にできるとよいと思います。</p>
<u>Matériel :</u>	Charles Marquard Sauer « GRA ?AIRE ITALIENNE »からの抜粋(事務所でプリントを配布)
<u>Remarques :</u>	